■　放課後等デイサービス自己評価表　■

特定非営利活動法人クローバー　つばさ　みらい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			課題ルーム2、遊戯室2、クールダウンの部屋、相談室など、部屋の機能を明確にしながら、一人ひとりに応じた支援ができるスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員は国の基準を上回る人数を配置しており、利用する子どもの直接支援は利用者:職員が概ね2:1となる体制としている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			他の子の様子、音や見えるものが気になり、集中できない児童が多いため、機能別の部屋や、部屋の構造の工夫、衝立の利用、耳栓やイヤーマフの利用などに加え、個々に合った取り組み課題を用意している。また、身体的な障害の方への配慮もしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			改善すべき事項が生じた場合は、関係する職員と話し合い、決定した対策は周知し、その後の状況も確認し、課題があれば再度対策を検討し、適切な状態にする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方向けの評価を実施している。 また、支援計画作成の前には、書面で簡単なアンケートを実施し、口頭でも意向をお聞きして対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページから公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点では実施していない。今後、必要であれば実施することも検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			採用時研修に加え、毎年、事業所ごとに全職員に研修を実施。また、外部で行う専門研修を紹介し希望者は受講(参加費助成)。問題が生じた際は、都度対策を検討し、必要に応じて研修を実施。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎日、活動の結果を評価。不適切な行動などがあった場合は、その行動だけにとらわれず、丁寧にアセスメントを行って対応方法を検討している。支援計画実施の際は、半年間の評価書を作成。保護者へは簡単なアンケートを行い、支援計画の面談で、さらにご意向、ご希望などを聞いて計画に反映させる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			当法人において標準化したツールを利用している。なお、いろいろなことが関係しており、一人一人の特性もあるため、特定のツールだけにとらわれず、柔軟な対応を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			必要に応じて、職員が連携できるよう、相談している。支援計画の作成は、関係する複数の人の情報を得、相談している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日、活動結果を評価し、スモールステップで成長を図るよう活動内容を工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間数に応じ、一人ひとりに応じて、活動計画を立てている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			「学習などの課題への取り組み」「遊びの場面における取り組み」の2つに分けた取り組みを計画し、さらに遊びの場面では、「他の子どもとの関わり」「一人でできる遊び」など子どもの特性、興味などに応じて計画。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の利用者の状況、気を付けるべきことなど、打合せを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎もあり、終了後に全員がそろって打合せをすることはできないが、その日に起きたことについては、個別の記録を作成し、大きな問題などは関係する職員との情報交換および児童発達管理責任者への報告、相談を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、個別に記録を作成し、これまでの状態の把握、今後の対応につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとの計画に加え、日々の活動の評価、重要な変化やできごと、本人の成長や新たな課題を元に必要に応じて随時行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			組み合わせた活動を行っている。（総則のア、イ、エ）
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要があれば、子どもの状況に最も精通したふさわしい者が参画する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校が開催する会議があれば出席する。また、保護者からの相談や子どもの状態を判断し、必要があれば保護者との相談、学校への訪問や情報交換などを行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いるか			○	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか	○			個別の事情や必要性により実施している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			本人・保護者の同意や要請があれば、以降の活動に生かせるよう、情報を提供している。就労する場合にも要望があれば会社への訪問、情報提供、支援などを行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		近くに該当機関はないが、必要に応じて専門機関への相談・連携を行うことができる。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	相談された場合は対応している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			当法人はメンバーとして活動
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っているか	○			子どもの状況、家庭の状況により違いがあるが、共通理解をもとに取り組むよう努めている。

	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			障害の理解や子どもの状態、支援方法などについて、必要に応じて保護者の方への情報提供や相談など支援を行っている。
保護者への任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談に応じ、助言と支援を行なっている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		法人の総会や、年に1回の交流会など、若干の交流の場は設けているが、積極的な活動とはなっていない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			日常的に、質問・要望などがあれば誠意をもって迅速に対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		法人としては、すべての事業を対象にした機関紙を出しているが、当該事業に特化したものではない。事業所として必要な情報などは、その都度連絡している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもとのやりとりでは、子どもの理解力や特性に合ったやり取りを心がけている。保護者の方とは、家庭の状況、将来の心配ごとなどに配慮したやり取りに心がけている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		知らない人との交流が苦手でいつもと違う活動が苦手な児童が多いため、開かれた交流の場は作っていない。なお、希望される方の見学、ホームページによる情報発信などを行っている。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			災害時のマニュアル、連絡手段などをインターネットで閲覧できるようにしている。感染症などについては、職員に徹底し、必要に応じて機関紙などでも広報している。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所ごとに、災害時を想定した訓練や対策を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に加えて、昇給基準にも利用者との関わり方を明記し、日常的な関わりの中で、適切な関わり方を徹底している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は行わない。不適切な行動については、原因への対策や、本人の意欲などを考えて改善している。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず保護者に確認している。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		一部、実施しているが、十分ではない。今後さらに徹底したい。